

日本花火鑑賞士会設立趣意書

ここ「花火の街大曲」で平成15年11月から実施している「花火鑑賞士」認定試験も、4回の実施で合格者が300名を超えるまでになっております。

特に、ここ数年の間に花火鑑賞士の存在や活動が全国のメディアにも取り上げられ、その認知度が高まったこともあり、昨年の受験者数は119名と過去最高となるなど、花火鑑賞ツアーの随行や各種花火情報紙への記事掲載などと相俟って、今後ますます花火鑑賞士の活躍の場が広がるものと予想されます。

このような状況の中、昨年の花火鑑賞士の集いにおいて、（仮称）花火鑑賞士会の設置に関するアンケートを実施いたしました。多くの参加者から賛成或いは設置を望む声があったところであり、この度、NPO法人大曲花火倶楽部の協力を得て、設立の運びとなった次第であります。

ご案内のとおり、花火鑑賞士の資格は、日本の花火を愛する人々が、専門知識を得たり素晴らしい花火文化に触れて感動したりする、言わば自己実現のためのツールという面と、その活動を通じ、花火文化を内外に普及啓蒙するという面があります。

加えて、花火作家、花火従事者はもちろんのこと、花火協会や花火主催者、プロアマの花火写真家など、花火に携わる多くの方々との交流連携を図りながら、日本が誇る伝統芸術花火を守り育て、その応援団として側面からサポートすることもまた、私たち花火鑑賞士の大きな使命であると思えます。

今こそ、花火の素晴らしい魅力を共通認識として持つ全国の仲間が、社会的立場や地理的な距離を超えて相集い、花火に対する理解をより深めることが何より必要なのではないのでしょうか。

以上の趣意のもと、私たち設立発起人は、花火鑑賞士の目的達成のための受け皿として、標題の組織を是非立ち上げたいと考えます。

日本で唯一の「花火鑑賞士」資格者による全国ネットワークを構築し、会員相互の情報交換や花火に関する諸事業を企画実施することにより、日本の花火のさらなる発展に寄与できれば幸いです。

平成19年5月12日